

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	沖縄の子供の貧困対策に必要な経費			担当部局庁	沖縄振興局		作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	令和3年度	担当課室	総務課事業振興室		室長 伊藤 経人		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	子どもの貧困対策の推進に関する法律			関係する計画、通知等	子供の貧困対策に関する大綱(平成26年8月 閣議決定) 沖縄県子どもの貧困対策計画(平成28年3月 沖縄県) 沖縄振興基本方針(平成24年5月 内閣総理大臣決定) 沖縄振興計画(平成24年5月 沖縄県)				
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国に比べて特に深刻な沖縄の子供の貧困に関する状況に緊急に対応するため、沖縄の実情を踏まえた事業を集中的に実施することにより、貧困家庭の子供の福祉の増進に取り組むこととする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	子供の貧困に関する各地域の現状を把握し、学校や学習支援施設、居場所づくりを行うNPO法人等の関係機関との情報共有や、子供を支援につなげるための調整を行う支援員の配置や、地域の実情に応じて、食事の提供や共同での調理、生活指導、学習支援を行うとともに、キャリア形成等の支援を行う子供の居場所の運営支援を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	1,202	1,309	1,437	1,460	1,852		
	執行額	1,036	1,127	1,241					
	執行率(%)	86%	86%	86%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	86%	86%	86%					
	令和3・4年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由				
沖縄子供の貧困緊急対策事業費補助金		1,460	1,852						
計		1,460	1,852						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度
	学校に毎日登校する子供の割合を92%まで高める。	学校に「毎日」登校していると回答した割合	成果実績	%	89.9	85.3	87.6	-	-
			目標値	%	89	90	91	-	92
			達成度	%	101	95	96	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート (令和元年度・令和2年度はうるま市と糸満市の2市をサンプリング調査)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度
	学校における勉強理解度のアンケート結果を子供1人当たりのポイント化した数値※について、居場所に来る前と比較し、来た後のポイント上昇率を毎年10%高める。	学校における勉強理解度のアンケート結果を子供1人当たりのポイント化した数値の居場所に来る前と来た後のポイント上昇率	成果実績	%	10.1	6.4	7.6	-	-
			目標値	%	10.1	11.1	12.2	-	13.5
			達成度	%	100	57.7	62.3	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	沖縄子供の貧困緊急対策事業アンケート(令和元年度・令和2年度はうるま市と糸満市の2市をサンプリング調査) ※勉強の理解度を「よくわかる」:100、「だいたいわかる」:75、「あまりわからない」:50、「ほとんどわからない」:25、「わからない」:0として計算。								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込
沖繩子供の貧困緊急対策事業交付件数		活動実績	件	31	31	32	-	-
		当初見込み	件	31	31	32	32	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額(X) / 交付件数(Y)	単位当たりコスト	百万	33	36	39	46	
	※令和3年度活動見込について、執行額は予算額と同額として推計	計算式	X/Y	1036/31	1127/31	1241/32	1460/32	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額(X) / 支援員配置数(Y)	単位当たりコスト	百万	3	2	3	3	
	※令和3年度活動見込について、執行額は予算額と同額として推計	計算式	X/Y	313/117	288/118	295/118	336/121	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額(X) / 子供の居場所運営支援数(Y)	単位当たりコスト	百万	5	5	5	5	
	※令和3年度活動見込について、執行額は予算額と同額として推計	計算式	X/Y	661/144	738/156	835/155	945/180	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	9. 沖繩政策
	施策	9. 沖繩振興に関する施策の推進

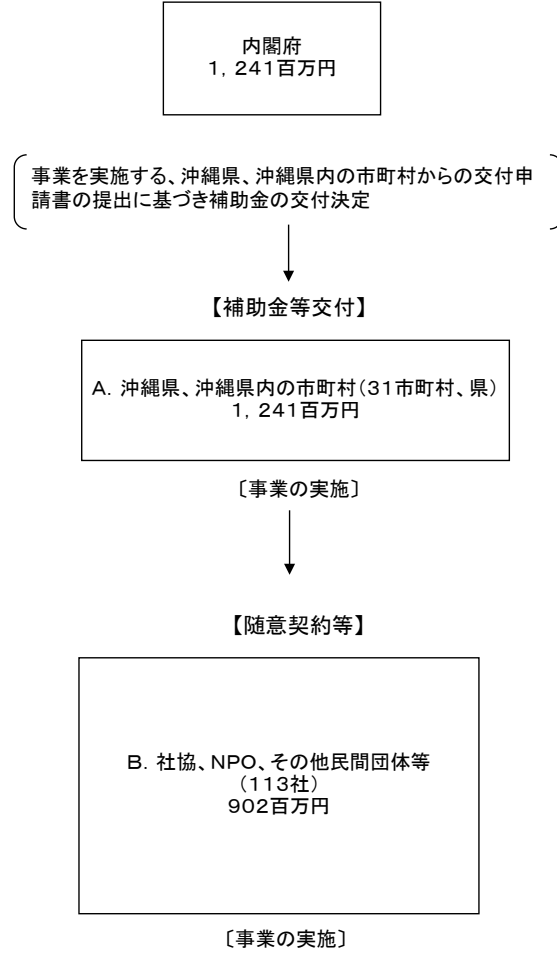
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	日中にとどまらず夜間も子供の居場所がない、貧困家庭の親が経済的自立をするための雇用の場が少ない等、特に深刻な沖繩の子供の貧困対策のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	全国に比べて特に深刻な状況に緊急に対応する必要がある沖繩の子供の貧困問題は、子供たちの将来だけでなく、社会的損失につながるとの考えから、その対策は国が先導して実施すべきである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	子供の貧困対策支援員の配置、子供の居場所の運営支援等、子供たちを貧困から救い、夢や希望を持ってもらうことは、将来を担う人材を育成する観点から優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に手続きを行っており、支出先の選定は妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	適切な執行を行い、単位当たりのコスト削減に努めることとする。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に手続きを行っており、資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	子供の貧困対策支援員の配置、子供の居場所の運営支援等、本事業の実施に必要な経費のみを補助対象としている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づき、事業の目的や効果等、内容の審査を行い、交付決定している。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	いずれも目標値に達していないものの、成果実績及び達成度は前年度を上回っている。調査によると、居場所の利用によって子供に肯定的な変化が見られるなどの良い効果も見られるところであり、居場所の職員に対する効果的な研修などを通じて、引き続き、成果目標に近づくため必要な支援を進めていく。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	支援員、子供の居場所等は着実に配置、開所されている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	類似の事業を厚生労働省で計上しているが、沖縄子供の貧困緊急対策事業においては、支援員を配置するとともに、居場所については、地域の実情に応じて深夜まで開所する場合も支援の対象とするなど、厚生労働省との事業内容とは異なっており、適切な役割分担を行っている。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	厚生労働省		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	
点検・改善結果	点検結果	沖縄の将来を担う子供達の深刻な貧困に関する状況に緊急に対応するため、沖縄の実情を踏まえた支援員の配置や居場所づくりを集中的に実施しているものであり、国として引き続き支援を行っていくことが必要である。 このような補助金の目的に鑑み、上記の通り点検した結果、事業費の支出内容は適切である。		
	改善の方向性	沖縄県を中心に事業の好事例等を横展開するなど、引き続き限られた予算の中で必要な事業を効率的に実施できるよう、現場の状況を把握していく。		
外部有識者の所見				
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は重要な取組である。 ・「学校における勉強理解度のアンケート結果を子供1人当たりのポイント化した数値の居場所に来る前と来た後のポイント上昇率」について、「勉強の理解度を『よくわかる』:100、『だいたいわかる』:75、『あまりわからない』:50、『ほとんどわからない』:25、『わからない』:0として計算」した上で、最終年度の目標を13.5ポイント改善することとしている。「類似の事業」を厚生労働省で行っているとのことだが、これは全国的に用いられている指標なのか。アンケートの作り方や指標の作り方を含め、見直しの余地はないか。 				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	<ul style="list-style-type: none"> ・所見を踏まえ、沖縄県等と連携し、アンケートや指標を含む当該事業内容を多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証を行う。 ・概算要求にあたっては、事業の進捗状況等を把握したうえで、これまでの執行状況等を踏まえた適正額となるよう努める。 			
備考				
-				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	新28-0003			
平成29年度	0076			
平成30年度	0078			
令和元年度	内閣府 - 0084			
令和2年度	内閣府 - 0083			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A. 沖縄県、沖縄県内の市町村(沖縄県)			B. 社協、NPO、その他民間団体等 (株式会社りゅうせきフロントライン)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	子供の居場所の運営支援事業等の実施	205	事業費	県立高校の居場所運営支援事業	56
旅費	事業の成果の分析・評価・普及事業に関する旅費	0.2			
計		205.2	計		56

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	沖縄県	1000020470007	居場所の運営支援 等	205	補助金等交付	-	-	
2	那覇市	3000020472018	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	203	補助金等交付	-	-	
3	沖縄市	5000020472115	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	159	補助金等交付	-	-	
4	うるま市	5000020472131	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	114	補助金等交付	-	-	
5	糸満市	5000020472107	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	70	補助金等交付	-	-	
6	浦添市	1000020472085	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	61	補助金等交付	-	-	
7	宮古島市	4000020472140	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	54	補助金等交付	-	-	
8	豊見城市	5000020472123	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	53	補助金等交付	-	-	
9	石垣市	1000020472077	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	44	補助金等交付	-	-	
10	南風原町	4000020473502	子供の貧困対策支援員配置、居場所の運営支援 等	36	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社りゅうせき フロントライン	1360001025876	県立高校の居場所運営支援事業(沖縄県)	56	随意契約 (その他)	-	99.9%	-
2	特定非営利活動法人 志塾フリースクール	3120005010450	子供の居場所運営支援事業(うるま市)	55	随意契約 (その他)	-	99.9%	-
3	特定非営利活動法人 エンカレッジ	8360005001925	子供の居場所運営支援事業(那覇市)	51	随意契約 (公募)	1	100%	-
4	一般社団法人カナカナ	6360005005366	拠点型子供の居場所、若年妊産婦の居場所運営支援事業(南風原町)	32	随意契約 (公募)	1	100%	-
5	特定非営利活動法人 侍学園スクオーラ・今人	9100005004754	沖縄県拠点型子供の居場所運営支援事業(沖縄県)	31	随意契約 (その他)	-	97%	-
6	特定非営利活動法人 エンカレッジ	8360005001925	拠点型子供の居場所、子供の居場所運営支援事業(沖縄市)	30	随意契約 (その他)	-	-	-
7	一般社団法人UTT	1360005004067	離島及び広域相談体制整備事業(沖縄県)	26	随意契約 (その他)	-	99.2%	-
8	特定非営利活動法人 サポートセンター ゆめさき	7360005003154	支援員及び子供の居場所の活動支援事業(沖縄県)	25	随意契約 (その他)	-	99.9%	-
9	特定非営利活動法人 エンカレッジ	8360005001925	子供の居場所の運営支援事業(豊見城市)	25	補助金等交付	-	-	-
10	一般社団法人沖縄 県助産師会	7360005004029	若年妊産婦の居場所の運営支援事業(沖縄市)	25	随意契約 (その他)	-	-	-